

「国技と触れ合おう！お相撲さんとはっけよい」

報道のお知らせ

「国技と触れ合おう！お相撲さんとはっけよい」の様子を、7月12日付
中日新聞 朝刊 尾張版19面に掲載されました。

保護者の皆様にお知らせいたします。

相撲や綱引きで園児と交流 あま・木田幼稚園

伊勢ノ海部屋の幕内力士ら

大相撲伊勢ノ海部屋の幕内力士ら3人が10日、あま市の木田幼稚園で園児らと交流した。国技に触れてもらおうと、毎年開く恒例行事。名古屋市西区に宿舍を構える部屋から錦木関と漣さん、若碓さんが訪れ、園児と一緒におにぎりや豚汁の昼食を味わった。

年長組の園児たちは錦木関に「ピザは何枚食べられるの」「なぜ相撲を始めたの」などと質問攻め。「大きくなるにはどうしたら？」という質問には「好き嫌いなく食べて」と答えた。

園庭では丸くロープを置いて作られた土俵で、園児や保護者が相撲にチャレンジ。十数人の園児に一度に攻められた錦木関が、走り回って逃げる場面も。最後に園児が土俵の外に錦木関を押し出すと「やったー」と歓声が上がった。

園児は3人のお相撲さんと綱引きも

園児らと土俵内
を走り回る錦木
関あま市の木
田幼稚園で

楽しんだ。最後に園児が「夏場所がんばってー」とエールを送ると、「おー、頑張るぞー」と元気に応えていた。

(吉田幸雄)

